

○校内実習(タオル畳み)

6/9(月)～6/20(金)に校内実習を実施し、タオル畳みを分教室全生徒で行いました。完成させるまでに複数の工程があり、生徒全員間違えないように丁寧に取り組みました。

○タオルチェック



タオルを畳む前にタオルに汚れがついていないか、糸のほつれがないかどうかを確認します。
確認をしたらその場で教員に対し「できました。確認お願いします。」と報告するとともにどこに汚れがあったのか、特に問題がなかったのかを伝えます。初めてタオル畳みを行った一年生も細かい汚れを見つけることができ、教員にはっきりと聞こえる声で報告することができました。

○タオル畳み

タオル畳みの工程は①端を2cm程ずらして半分に折る。②①のタオルを更に半分に折る。③型紙を置いて両側から畳み、決められた枠の大きさに納める工程がありました。難しい作業ですが、根気強くやり直して取り組みました。



○袋入れ、空気抜き

畳んだタオルを歯ブラシと一緒に袋に入れます。入れている途中でタオルが折れ曲がらないように奥に入れた後、上からしっかり押さえて空気を抜きます。
歯ブラシの向きを決まっているので、気を付けるポイントを一つ一つ確認しながら作業を進めました。



